

平成15年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2003

平成15年度

# 福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2003

## 目次

■展示事業	
1 特別企画展	06
2 小企画展	09
3 コレクション展	12
■交流事業	
1 招聘事業	14
2 地域交流イベント	17
3 ボランティア活動	18
4 広報活動	20
■新所蔵作品	22
■入場者数	26
■活動記録	28
■概要	
1 基本理念	30
2 活動内容	31
3 施設概要	32
4 沿革	36
■名簿	38



展示事業

謎の古代文明展



会 期 2003年7月19日(土)～9月7日(日)  
 会 場 企画ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、RKB毎日放送、西日本新聞社  
 後 援 福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、ペルー共和国大使館、ボリビア大使館、エクアドル大使館、プリティシユ・カウンスル

開催日数 44日  
 観覧者数 44,975人  
 出品点数 約100点

本展は1996年に、500万部のベストセラーとなったグラハム・ハンコックの著書「神々の指紋」の展覧会版として再現したもの。古代エジプト文明やマヤ文明など未だに謎に包まれた多くの失われた文明をわかりやすく映像や写真、ジオラマ、解説パネルなどで紹介。

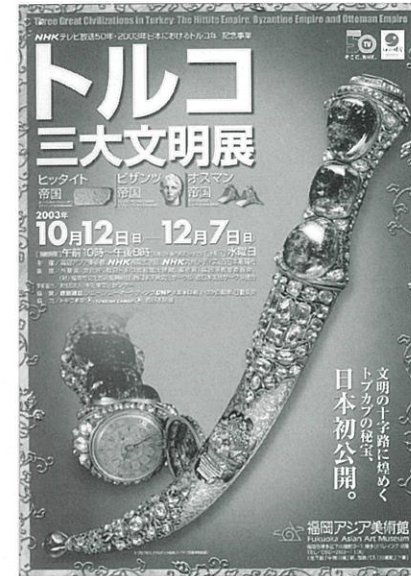
また、古代エジプト文明研究の第一人者である早稲田大学・吉村作治教授のコーナーを設け、最新の発掘調査報告やツタンカーメンの謎についての展示のほかに、教授自身による2回の講演会を開催。

ポスター B2 デザイン: 有限会社ディップ  
 チラシ A4 デザイン: 有限会社ディップ

関連記事

- 2003. 6.27 西日本新聞 西日本新聞社 謎の古代文明展
- 2003. 7. 3 西日本新聞 本社の事業 19日から、福岡アジア美術館「謎の古代文明展」石像や遺跡群など紹介
- 2003. 7.19 西日本新聞 「謎の古代文明展」開幕 福岡市のアジア美術館
- 2003. 7.21 西日本新聞 吉村作治・早大教授 エジプト文明で講演 アジア美術館160人が耳傾ける
- 2003. 8. 8 西日本新聞 入場者、1万人を突破 謎の古代文明展 重水さんに記念品
- 2003. 8.16 西日本新聞 見て驚き 古代文明展 歴史見つめ直す機会 宗像大社補宣伊藤佳和さん
- 2003. 8.19 西日本新聞 入場2万人目は丸田さん 謎の古代文明展
- 2003. 8.19 西日本新聞 文化 謎の古代文明展 謎解きに挑もう 自由に「大胆な仮説」を
- 2003. 9. 4 西日本新聞 エジプトコーナーが人気 福岡アジア美術館「古代文明展」7日まで

トルコ三大文明展 ～ヒッタイト帝国・ビザンツ帝国・オスマン帝国～



会 期 2003年10月12日(日)～12月7日(日)  
 会 場 企画ギャラリー、交流ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、NHK福岡放送、NHK九州メディス、西日本新聞社  
 後 援 外務省、文化庁、駐日トルコ共和国大使館  
 学 術 協 力 (財)中近東文化センター

開催日数 49日間  
 観覧者数 115,671人  
 出品点数 207点

今なお、エーゲ海・地中海の海岸線に沿ってギリシャ・ローマ時代からの遺跡が残り、数千年の歴史と文化がその中で眠っているといわれるトルコ。トルコは、東西文明の十字路であり、民族移動の道でもあった。そうした地理的背景のもと、トルコの地には3つの帝国が開花した。紀元前18世紀頃、「民族移動の道」をせき止めて大帝國を築き、古代エジプト帝国と対峙して世界史に多大な影響を与えたヒッタイト帝国。ローマ帝国の文化を継承しつつ独自のキリスト教文化を育み、4世紀から15世紀にかけてコンスタンチノープルに千年の都をおいたビザンツ帝国。そして、ビザンツの都を陥落させ、ヨーロッパのキリスト教世界に脅威を与えつづけたイスラームの大帝国、オスマン帝国。これら三大帝国の姿は、私たちに人類の文明の豊かさと栄枯盛衰について語りかけてくれる。

本展は、NHKおよびNHKプロモーションの企画によるもので、トルコ国内に所蔵されている三大帝国の優れた文化財を一堂に展示し、トルコの地が文明史上いかに豊かな地であったかを紹介した。

図録発行 NHK

- 関連事業
- 開催記念講演会
    - 10月4日(土) 14:00～16:00  
北九州市立商工貿易開館・多目的ホール  
鈴木董「トプカプ宮殿物語」
    - 10月5日(日) 14:00～16:00  
福岡アジア美術館・あじびホール  
鈴木董「オスマン帝国とトプカプ宮殿の秘宝」
    - 10月12日(日) 14:00～16:00  
福岡アジア美術館・あじびホール  
吉田大輔「ヒッタイト～アナトリアが生んだ古代オリエント世界の強国～」
    - 10月13日(月・祝) 14:00～16:00  
福岡市民館・研修室  
吉田大輔「ヒッタイト～アナトリアが生んだ古代オリエント世界の強国～」
  - トルコ三大文明展開催記念「サズ・ロビーコンサート」
    - 12月2日(火) 14:00～、16:00～  
福岡アジア美術館・彫刻ラウンジ  
FUJI (サズ奏者)
  - トルコ三大文明展クーリエによる特別レクチャー
    - 11月22日(土) 14:30～16:00  
福岡アジア美術館・あじびホール  
アイシャ・ズルカディオグル「ビザンツ帝国: イスラームの中に残るキリスト教遺跡」
  - 美術館喫茶店で特別メニュー提供
    - 開催期間中 10月12日(日)～12月7日(日)  
カフェ黄瑠璃(ホワンリュウリー)  
トルコのお茶・お菓子等特別メニューの提供

関連記事

- 2003.10. 8 西日本新聞(朝) 宇田懐「クロスロードの至宝 トルコ三大文明展 上 法慣習知る手がかり」
- 2003.10. 9 西日本新聞(朝) 「クロスロードの至宝 トルコ三大文明展 中 文化と宗教の「混交」」

## 現代の東南アジア美術——それぞれの視点



会 期 2003年12月18日(木) - 2004年3月7日(日)  
 会 場 企画ギャラリー  
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、テレビ西日本、国際交流基金、シンガポール美術館  
 共 催 ASEAN情報文化委員会  
 後 援 外務省  
 開催日数 64日間  
 出品点数 34点(15作家)

2003年は「日本・ASEAN交流年」とされ、相互の理解と協力関係を深めるため、日本とASEAN諸国の各地で、様々な交流事業が行われた。本展は、その一環として、2002年から2003年にかけてヨーロッパの4都市で開催されたシンガポール美術館企画の「36の思考—現代の東南アジア美術」展をもとに、日本での開催のために再構成したもの。

ASEAN10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)の15作家による絵画、インスタレーション、ビデオ作品など全34点を紹介した。いずれの作品にも、問題意識をもって現代社会や自国の伝統文化をそれぞれの視点で見つめる、作家たちの真摯な態度が現れており、ASEANにおけるアートシーンの活況を見ることができた。この展覧会を通して、多くの市民に同時代に生きる作家たちの息吹に触れてもらい、日本とASEAN諸国の現代美術の理解の一助となることを目的とした。

関連事業 1) ギャラリートーク 12月18日  
 会場: 企画ギャラリー  
 講師: ジョアンナ・リー(シンガポール美術館副館長)  
 関連事業 2) ギャラリートーク 3月6日  
 会場: 企画ギャラリー  
 講師: アポティック・コミック・グループ(インドネシア)、ディン・ティ・タン・ブーン(ベトナム)  
 図 録 A5 発行 シンガポール美術館  
 ポスター B2 デザイン: 北里俊明(design pool)  
 チラシ A4 デザイン: 北里俊明(design pool)

## 関連記事

2003.11.20 西日本新聞(夕)「『現代の東南アジア美術—それぞれの視点』展 10カ国の作家紹介」  
 2003.12.18 西日本新聞(夕)「多彩な10カ国の芸術披露 福岡市『現代の東南アジア美術』開幕」  
 2004. 3 Asia Pacific Perspectives: Japan+ (社団法人 時事画報社)「日本とASEAN 諸国との文化交流」  
 2004. 1. 9 毎日新聞(夕)「福岡で『現代の東南アジア美術』展 複雑な社会・民族状況映して近代の枠揺さぶる」  
 2004. 2.12 西日本新聞(夕)「展覧会から『現代の東南アジア美術—それぞれの視点』」

## 展示事業 2 小企画展

近代美術—Ⅲ  
ライオネル・ウェント写真展—「近代」のまなざし

会 期 8月21日(木) - 10月28日(火)  
 会 場 アジアギャラリーB  
 開催日数 60日間  
 観 覧 者 数 17,898人

アジア各地での近代美術への道を切り開いた個人・グループを紹介するシリーズの第3回展。今回は、デリーの個人コレクションにより、スリランカの写真家ライオネル・ウェント(1900-1944)による写真作品を展示した。スリランカの最初の近代美術運動である「43年グループ」の創立にも貢献した彼の作品は、シュルレアリスムや構成主義の影響を受けた斬新なモダニズム的構成や実験精神と、熱帯の自然や男性ヌードを見る視点によって、今も新鮮な問題を提起した。

ポスター B2 デザイン: 栗田卓哉(warlock)  
 図 録 A4変形 デザイン: 栗田卓哉(warlock)  
 チラシ A4 デザイン: 栗田卓哉(warlock)

## 関連記事

2003. 8 Go-Fubar.Mag, issue 11 「ライオネル・ウェント 近代のまなざし」 p.6-7  
 2003. 8.11 シティ情報福岡 No.598 「ライオネル・ウェント写真展—「近代」のまなざし」 p.147  
 2003. 8.19 読売新聞(夕)、「ウェント展 21日から福岡」  
 2003. 8.22 毎日新聞(夕)、米本浩二「福岡アジア美『ライオネル・ウェント写真展』古典と実験の魅惑 スリランカの近代開く」  
 2003. 9. 6 朝日新聞(夕)、山口洋三「西洋美包み込む熱帯の空気 ライオネル・ウェント写真展」  
 2003. 9.11 西日本新聞(夕)、「展覧会から ライオネル・ウェントの写真展—福岡アジア美術館」  
 2003. 9.12 読売新聞(夕)、福住廉「ベスト展 8月 ライオネル・ウェント写真展 『近代』のまなざし」  
 2003.10. 1 芸術新潮 「ライオネル・ウェントの茶箱絶景」vol.54, No.10  
 2003.10.13 西日本新聞(朝)「ライオネル・ウェント写真展 『見る』という個の欲望」

## 外国語記事

June, 2004 Tan, Yvonne. "Lionel Wendt-Modernist Photographer of Sri Lanka." Asian Art Newspaper (London): 6  
 7 Sept, 2003 "Photographs by Lionel Wendt at Exhibition in Japan." Sunday Observer (Sri Lanka): 34

アート横断—II インドのビデオ・アート展



会 期 2004年2月7日(土)–3月21日(日)  
 会 場 交流ギャラリーほか  
 開催日数 38日  
 観 覧 者 数 2,517人  
 出 品 点 数 10点

近年のアジアにおける映像、アニメーション、漫画、ファッション、建築などの様々な現代特有のメディアにおける視覚表現や、そのような表現をジャンルを越えて利用した現代美術を紹介するシリーズ展の2回目。今回は、映像という新しいメディアに挑戦するインドのアーティストたちを紹介した。彼らは、もともと絵画や彫刻から出発したが、それぞれの創造領域の拡張として「映像=ビデオ」を使い始め、その可能性を独自に追求するようになった。インド在住のオランダ人キュレーター、ヨハン・バイナップル氏による企画で、2002年にオーストラリアのブリスベーンで開催された「自己—現代インドのビデオアート」展を発展させたもの。

- 関連事業 1) 講演会 2004年2月7日(土)  
 講師: ヨハン・バイナップル  
 関連事業 2) ワークショップ 2004年3月6日(土)・7日(日)  
 作家: シルバ・グプタ  
 ポス ター B2 デザイン: 藤田公一  
 図 録 A4変形 デザイン: 藤田公一  
 チ ラ シ A4 デザイン: 藤田公一

関連記事  
 2004. 4 美術手帖(美術出版社)、速藤水城、「企画展レビュー: インドのビデオアート展 対立を超える『眼』の創出へ向けて」p.316-317

第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1



会 期 2003年8月9日(土)–9月2日(火)  
 会 場 交流ギャラリー  
 開催日数 22日  
 観 覧 者 数 1,913人

平成15年度前期招聘美術作家2名の滞在制作作品を公開。ジャカバン・ヴィラシニークンは、滞在中に強い印象を受けた自転車や理髪店のサインポール、多彩な柄のマンホールの蓋、非常口のサインなどを用いたインスタレーション作品を展示し、チュルテム・ボルドバートルはモンゴルの古代壁画を思わせる文様を施した石や砂などを天文学に基づくゲーム板のように配置して、アクリルや抽象画の作品と組み合わせたインスタレーション作品を展示した。

- 関連事業 ジャカバン・ヴィラシニークンとチュルテム・ボルドバートルのギャラリートーク  
 8月9日(土) 10:00~  
 馬頭琴とモンゴルの歌 ライブ・コンサート  
 8月9日(土) 14:00~15:00 会場: 彫刻ラウンジ  
 チ ラ シ A4 デザイン: マツダヒロチカデザイン事務所  
 リーフレット A4 デザイン: マツダヒロチカデザイン事務所

招へいアーティストと研究者による滞在の成果  
 第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2  
 ウェブで結んだ福岡とクアラルンプールの交流プロジェクト「アップロード・ダウンロード」



会 期 2003年12月20日(土)–1月18日(日)  
 会 場 交流ギャラリー  
 開催日数 20日  
 観 覧 者 数 1,677人

平成15年度後期招聘美術作家2名が滞在制作作品を発表し、研究者1名が滞在中の記録を公開した。ハヌラ・ホセアは市民と制作した人形を使ってアニメーション作品を制作し、リュウ・リユンはボランティア・スタッフと共に日本の風景を素材にした立体やレリーフの作品を制作してともに展示した。ハスナル・ジャマル・サイドンは、クアラルンプールと福岡の大学生がインターネットを使って画像を加工していく交換プロジェクトをおこない、その記録を展示した。

- 関連事業 ハヌラ・ホセアとリュウ・リユンのギャラリートーク  
 12月20日(土) 10:00~  
 ライブ・コンサート(とんちビクルス、ふかみあや、prima materia)  
 12月20日(土) 11:00~11:40  
 チ ラ シ A4 デザイン: マツダヒロチカデザイン事務所  
 リーフレット A4 デザイン: マツダヒロチカデザイン事務所

## 展示事業 3 コレクション展

アジアギャラリーでは、所蔵品により、アジア美術の近代から現代への流れがわかるように展示をおこなった。その中で、2本の特設コーナーを設置し、2〜3ヶ月ごとにテーマ展示を行った。平成15年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

### 〔アジアギャラリーA〕

#### インドネシア—神・精霊・人間

4月3日(木)〜7月1日(火)

インドネシアの近現代美術は、ヒンドゥー教や土着の信仰、それらの神に捧げられた芸能を土台にしたものに一つの特徴がある。この特色に光をあて、ここでは、カマサン様式と呼ばれる宗教絵画から、神や精霊がいまの人間と対決する現代美術までを展示。

#### 戦争と平和—20世紀からのメッセージ

7月3日(木)〜9月16日(火)

20世紀のアジアには、太平洋戦争における日本軍の優攻やベトナム戦争、バングラデシュの独立戦争など、戦争という暴力が吹き荒れた。アジアの戦争をテーマにした美術作品から、私たちがどういふメッセージを受け取ることができるかを考えた。

#### ハッピー・ファミリー 家族の肖像

9月18日(木)〜12月25日(木)

家族は人をつなぐもつとも強い絆であり、そこには様々な物語が編み込まれている。ここでは、ミャンマーの初期洋風画から現代美術までの幅広い作品をとおして、幸せな家族像の表と裏を探った。

#### 女性たちの手わざ

1月2日(金)〜3月30日(火)

女性の家事とされてきたものが、いま、民族芸術として認められたり、現代美術に取り入れられたりしている。裁縫を土台にするイン・シウジェン(尹秀珍/中国)やビナリー・サンピタック(タイ)から、ミティラー画(インド)や刺繍カンタ(バングラデシュ)までを通して、女性たちの手わざが芸術(美術)になることを考えた。

### 〔アジアギャラリーB〕

#### アジア展ヒストリー1 第1回(1980年)

3月27日(木)〜6月3日(火)

福岡市美術館で1980年から1994年までに過去4回開催されたアジア美術展は、同時代のアジア美術を包括的に紹介した画期的な展覧会だった。福岡アジア美術館誕生につながる展覧会でもあるアジア美術展の歴史を、当時の出品作品や写真資料などでたどった。シリーズ第1弾は、1980年に開かれた第1回展に焦点をあてた。

#### 絵画に見る都市と建築

6月5日(木)〜8月19日(火)

中国の伝統的な宮殿、植民地時代のインドやマレー半島の欧風コロニアル・スタイル、急速な近代化が生み出す無機質なビルと庶民の家々のギャップ、作家の個人的な幻想が生み出す異様な建物など、都市や建築が主要モチーフとして描かれた絵画を集め、作者の意図を越えた背景やディテールに注目して、新たな視点でアジア社会の変化を読み解いていった。

#### バングラデシュのアート

10月30日(木)〜1月13日(火)

長い戦争や大きな自然災害に見舞われてきたバングラデシュは、経済的には貧しい国である。しかし、アートにおいては近現代美術から民族芸術や大衆芸術まで、アジアの中でもたいへん豊かな展開を見せる。そのバングラデシュのアートの魅力を現代美術からリキシャ、刺繍カンタまでとりまぜて紹介した。

#### 中国の版画

1月15日(木)〜3月23日(火)

草原や都市での生活を題材に、現代人の漠とした不安を象徴的に描き出すス・シンピン(蘇新平/中国)の版画作品を中心に、文化大革命時代から1990年代までの確かな技巧に裏づけられた中国版画約50点を紹介した。



交流事業



本事業はアジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を一定期間招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助になることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

本年度は4人の美術作家と2人の研究者を3カ月間招聘した。

美術作家招聘事業



ジャカパン・  
ヴィラシニークン  
(タイ)

1964年生まれ。タイのシラバコーン大学美術学部からドイツのカルスルー工国立美術大学に進み、現在はシラバコーン大学美術学部彫刻科で教えている。

滞在期間

2003年5月15日～8月15日

福岡市内の様々な場所へ赴き、使われなくなったマンホールや自転車、楽譜台、理容院のサインポールなどを見つけては、それを組み合わせていくつもの立体作品を制作した。また、小・中学生を対象にしたワークショップを2回開催したり、「アジアフォーカス・福岡映画祭2003」のポスター用に新たな立体作品を制作するなど、精力的に活動した。

□おもな活動

- 5月30日 中間市立中間南中学校の1年生11人を対象に、美術館のスタジオ内で鉛筆などのワークショップを行う。
- 7月19日 ワークショップ「身のまわりの物で作品を作ろう!」を美術館のホールで開催し、小学生と保護者24人が参加。
- 8月9日 「第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1」を美術館の交流ギャラリーで9月2日まで開催。



チュルテム・  
ボルドバートル  
(モンゴル)

1955年生まれ。ウランバートル芸術大学を卒業後、モスクワのスリコフ美術学院で修士号と博士号を取得。現在はモンゴル国立大学で芸術学を教えている。

滞在期間

2003年5月19日～8月12日

モンゴルの古代岩壁画にインスピレーションを受けた抽象絵画を制作するだけでなく、展示会場に砂と石などを使ったインスタレーションを設置。また、広くモンゴル文化に親しんでもらおうと、古くから伝わる遊びや文字や音楽などを、ワークショップや美術講座やライブコンサートを通して紹介した。

□おもな活動

- 7月26日 美術講座「モンゴルの古代岩壁画の魅力」を美術館のホールで開催し、65人が参加。古代文字の講義とモンゴル文字の書を教えた。
- 7月27日 ワークショップ「モンゴルの古代のゲームで遊ぼう!」を美術館の彫刻ラウンジで開催し、小学生15人が参加。
- 8月9日 「第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1」を美術館の交流ギャラリーで9月2日まで開催。当日は交流ギャラリーと彫刻ラウンジでライブコンサート「馬頭琴とモンゴルの歌」を開催(聴衆140人)。



リュウ・リユン  
(中国)

1974年生まれ。中国中央美術学院を卒業後、イギリスのセント美術デザイン大学で芸術学の修士号を取得。現在は中央民族大学で美術を教えている。

滞在期間

2003年9月24日～12月23日

真っ白い布を使って、現実と空想が混じり合う風景画のレリーフやぬいぐるみのような立体作品を丹念に制作。美術館ボランティアもその縫製や作品作りに参加した。また、親子を対象にしたワークショップでは、中国の民間に伝わる切り紙細工「剪紙」を教えるなど、物作りの楽しさを市民と共有した。

□おもな活動

- 11月29日 ワークショップ「中国の剪紙を作ろう!」を美術館の交流スタジオで開催し、小学生と保護者37人が参加。
- 12月20日 「第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2」を美術館の交流ギャラリーで2004年1月18日まで開催。



ハヌラ・ホセア  
(インドネシア)

1966年生まれ。現在はドイツ在住。

滞在期間

2003年9月25日～12月22日

美術系の学生や一般市民によって作られた約40体の人形を使ってパペット・アニメーションを制作。また、地元ミュージシャンたちにアニメーションのための曲をそれぞれ提供してもらったり、小学生を対象にインドネシアの伝統文化・芸能に親しむワークショップを開催するなど幅広い人々と交流。「アジアフォーカス・福岡映画祭2004」のためにポスター用の原画も制作した。

□おもな活動

- 11月27日 福岡市立室見小学校の4年生3クラスを対象に、インドネシアの紙芝居「ワヤン・ベベル」を作るワークショップを開催。
- 12月20日 「第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート2」を美術館の交流ギャラリーで2004年1月18日まで開催。当日はハヌラ・ホセアのアニメーション作品「通路」にあわせて即興演奏するライブコンサートを美術館のホールでおこなった(聴衆62人)。



交流事業 1 招聘事業

研究者招聘事業



ケリー・ウェン  
(台湾)

1974年生まれ。台湾国立大学を卒業後、アメリカのオレゴン大学で博物館学の修士号を取得。2002年までは台北現代美術館に勤務していた。

滞在期間

2003年6月9日～9月6日  
日本の美術館・博物館運営の現状と民間支援について研究するため、建設準備が進められている九州国立博物館を中心に調査。数多くの関係者にインタビューした。また、その滞り研究報告と台湾における芸術文化行政の現状報告を兼ね、「変わりゆく芸術文化行政-台湾と日本の試み-」を開催した。

□おもな活動

8月30日 滞り研究報告「変わりゆく芸術文化行政-台湾と日本の試み-」を美術館のホールで開催し、64人が聴講。



ハスヌル・ジャマル・サイドン  
(マレーシア)

1967年生まれ。マレーシアのマラ工科大学、アメリカの南イリノイ大学を卒業後、アメリカのレンセリア・ポリテクニクで美術修士号を取得。現在はマレーシア科学大学で教えている。

滞在期間

2003年9月29日～12月23日  
インターネットを使って共同でメディア・アートを作る交流プロジェクト「アップロード・ダウンロード」を滞り期間中、継続的にこない、クアラルンプールと福岡の学生たちが数多く参加した。また、一般市民を対象にした連続美術講座を開催し、マレーシアのメディア・アートの歴史を紹介した。

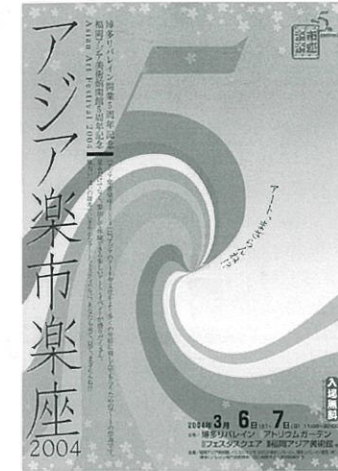
□おもな活動

11月2・9日 連続講座「マレーシア美術講座」を美術館のホールで開催。第1回は「マレーシアのメディア・アート」(聴講者42人)。第2回は「境界を超えて:マレーシアのパフォーマンス芸術」(聴講者44人)。  
12月20日 交流プロジェクト「アップロード・ダウンロード」展を2004年1月18日まで開催。当日は美術館のホールで同プロジェクトの報告をおこなう。



交流事業 2 地域交流イベント

アジア楽市楽座2004 アート、まざらんね!?



会期 3月6日(土)、7日(日) 11:00～20:00  
会場 博多リバレイン(アトリウムガーデン、フェスタスクエア、福岡アジア美術館ほか)

「アジア楽市楽座」は、太閤町割りのことに楽市楽座で賑わった博多部の反映を模し、会場の博多リバレインに市をたて、アジアのアートや文化を体感してもらうアート・フェスティバルとして毎年開催している。

5回目となる今年も例年と同じくアジア・アート・フリーマーケットを中心に、インドネシア、ベトナム、インド、シンガポールからアーティストを迎え、市民参加のワークショップを開催したほか、大道芸やライブ・コンサート、演劇、ダンス・パフォーマンスなど多彩なプログラムを実施した。

プログラム

- アジア・アート・フリーマーケット
- アジアのアーティストによるワークショップ  
アポティック・コミック(インドネシア)  
エコ・ヌグロホ(インドネシア)  
ティン・ティ・タン・フーン(ベトナム)  
シルバ・グプタ(インド)  
ウィルキー・タン(シンガポール)
- ステージ・イベント  
JOY倶楽部ミュージックアンサンブル ライブ・コンサート  
インターナショナル・ダンス・ネットワーク 'Spring Has Come'  
胡弓と歌のライブ・コンサート  
馬頭琴 ライブコンサート  
木屋正和三味線ライブ  
野和太鼓ライブ  
クラシック・コンサート  
フォルクローレ ライブ・コンサート  
大道芸  
福岡吉本漫才バラエティショー  
ソウル・スブラッシュ・クルー ダンス・パフォーマンス  
世狼(ZERO) ダンス・パフォーマンス  
伝統舞踊と大衆演劇  
夢一座公演「験の母」  
劇団コーポ2インチ公演「箱の中身」  
ステージ・ショッピング

関連企画 福岡アジア美術館開館5周年記念 セミナー「広まりゆくアジアの美術教育」

近年、美術における教育の役割/教育における美術の役割に熱い視線が注がれています。美術教育に携わる人々とそのエネルギーな活動は、美術館や学校だけでなく、都市や農村のコミュニティを舞台に、美術の新たな役割を創出しようとしています。セミナーでは、アジアで活躍している4人のパネリストが、各々の活動を報告するとともに、これからの美術教育について話し合った。

- パネリスト/チョー・ジュージェ/邱志杰(中国、アーティスト、キュレーター)  
ブレンダ・ファハルド(フィリピン、アーティスト)  
ウィルキー・タン(シンガポール、アーティスト)  
長田謙一(千葉大学教育学部教授)



## 交流事業 3 ボランティア活動

8つのグループごとに活動をおこなった。図書資料ボランティアは書架整理、ラベル貼付、閲覧室や情報コーナーの展覧会関連本の展示等をおこない、学芸資料ボランティアは新聞のスクラップ、所蔵品資料・記録写真資料のナンバリングなどをおこなった。情報ネットボランティアは展覧会案内のチラシや葉書の整理、雑誌掲載記事の整理のほか、ボランティアメールの配信等をおこなった。ボランティア通信編集ボランティアは通信の作成をおこない、広報ボランティアは季刊誌「あじびニュース」の発送および主催展のポスター、チラシの発送等をおこなった。交流ボランティアはレジデンス作家・研究者の滞在制作・滞在研究の補助、市民交流イベント「アジア楽市楽座2004」の補助をお

## 活動内容

(H16年3月現在 登録者258人)

活動区分	活動内容	人数(人)
図書資料	図書資料の整理、データの登録など	45
学芸資料	学芸関連資料データの整理補助、新聞記事のスクラップなど	25
情報ネット	他館の展覧会情報(郵送印刷物)の整理など	43
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説および施設案内	51
ボランティア通信編集	当館ボランティア向け印刷物(ボランティア通信)の編集、発行	12
ボランティア催事	ボランティア交流会、ボランティア研修会等の企画・実施	13
交流	滞在家・研究者の支援(制作補助、研究補助、語学補助)、イベントの支援	147
広報	美術館広報誌の発送、ポスター・チラシ等の配布など	41
		計 377

※一人が複数のグループに所属して活動できるため、上記の人数はのべ数。

こなった。ボランティア催事ボランティアは、レジデンス歓迎会・ボランティア忘年会、研修バスツアー(秋吉台国際芸術村、山口情報芸術センターほか)を企画・実施した。案内・解説ボランティアは、常設展の作品解説や団体見学の案内等をおこなった。

また今年度から全てのグループに担当職員を配置し(これまで図書・学芸資料・情報ネットのみ)、活動状況を随時把握できるようにしたほか、新たに案内・解説ボランティアをボランティア内で募集して半年間にわたり養成講座をおこない、人数の補充をはかった(次年度から活動開始)。さらに7月の「市長の施設訪問」において、ボランティア13名が市長と施設や市政について懇談をおこなった。

## おもな活動

## 平成15年

- 4月 1日 学芸資料ボランティア活動開始。新聞スクラップ等の活動をおこなう(以後各自月2回、各2時間以上活動)。案内・解説ボランティア、常設展の作品解説を開始(以後毎日実施)。
- 4月 3日 情報ボランティア活動開始、パソコンデータ整理、チラシ・葉書の整理等をおこなう(以後毎月4回、木・土曜日はグループ活動し、それ以外は随時ボランティア専用パソコンのメールチェックおよび情報配信等を個人でおこなう)。
- 4月 8日 図書ボランティア活動開始。書架整理、三段ラベル、バーコードの貼付等をおこなう(以後各自月2回、各2時間以上活動)。
- 4月 9日 広報ボランティア「あじびニュース12号」の発送作業。ボランティア通信編集ボランティア活動開始。「ボランティア通信vol.7」の作成に取りかかる。
- 4月26日 案内・解説ボランティア月例ミーティング開催。
- 5月31日 案内・解説ボランティア月例ミーティング開催。交流ボランティア・ミーティング開催。レジデンス作家・研究者の紹介と滞在プランの説明を聞き、サポートを開始。材料調達やワークショップの補助などをおこなう(8月9日まで)。催事ボランティア、レジデンス作家・研究者の歓迎会を開催。ボランティア総会開催。新年度職員紹介、ボランティア登録結果報告、職員担当制についての説明と今後の活動についての意見交換をおこなう。
- 6月28日 広報ボランティア「あじびニュース13号」の発送作業。以後、特別企画展開催ごとにポスター、チラシの発送作業をおこなう。
- 7月 3日 交流ボランティア、滞在家のワークショップ・リハーサルに参加。
- 7月23日 ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 7月26日 市長が美術館を訪問し、ボランティアと懇談。美術館の役割やボランティア活動について活発な意見を交わした。
- 7月27日 案内・解説ボランティアの追加募集説明会。催事ボランティア、前期レジデンス作家・研究者の送別会開催。
- 8月 9日 ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 8月30日 新案内・解説ボランティア養成講座開始。曜日別(火・木・土、月2回)に担当学芸員が施設案内・作品解説のトレーニングを実施(3月まで)。

- 9月27日 交流ボランティア・ミーティングを開催し、レジデンス作家・研究者のサポート開始。作品の制作補助等をおこなう(12月20日まで)。ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 10月 3日 広報ボランティア「あじびニュース14号」の発送作業。
- 10月25日 案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 11月21日 ボランティア通信編集ボランティア、月例ミーティング。
- 11月 8日 催事ボランティア主催の「秋のボランティア研修旅行」を実施。秋吉台国際芸術村でレジデンス施設を見学した後、山口情報芸術センターで開館記念展「アモータル・サスペンション」を観賞。
- 11月29日 案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 12月20日 催事ボランティア、ボランティア忘年会・後期レジデンス作家・研究者の送別会を開催。ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。

## 平成16年

- 1月13日 広報ボランティア「あじびニュース15号」の発送作業。
- 1月24日 ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 2月21日 交流ボランティア・ミーティング開催。「アジア楽市楽座2004」の担当グループを決め、プログラムごとに随時準備作業をおこなう(3月8日まで)。ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。
- 3月9・10日 「アジア楽市楽座2004」開催。交流ボランティア、広報ボランティアがワークショップの補助、フリーマーケットの出店、チラシの配布等をおこなう。
- 3月27日 ボランティア通信編集ボランティア、案内・解説ボランティア月例ミーティング。

## 交流事業 4 広報活動

### あじびニュース

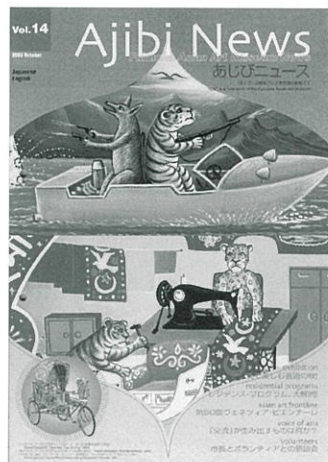
vol.12 2003.4.1発行

- 新年度の展覧会ひとめぐり
- レジデンス・プログラムの楽しみ
- アジアン・アート最前線
- 広州トリエンナーレが照らしたその道の向こう
- アーティスト・研究者が語るアジアの今
- よみがえる図書館に、新しいアートの胎動
- ボランティア
- 楽市楽座で人気の韓国大衆文化店



vol.13 2003.7.1発行

- アジ美の夏を彩る展覧会
- レジデンス・プログラムが始まりました!
- アジアン・アート最前線
- 次世代のスターは?
- チェムティ周辺に集まるアーティストたち
- アーティスト・研究者が語るアジアの今
- “ユニバーサル”の象徴、アジア。
- その裏に失いつつあるものとは…
- ボランティア
- イベント、親睦会…きっちり仕切ります!



vol.14 2003.10.1発行

- アジ美で楽しむ芸術の秋!
- レジデンス・プログラム大解剖!
- アジアン・アート最前線
- 第50回ヴェネツィア・ビエンナーレ 勝負は10秒
- アーティスト・研究者が語るアジアの今
- 「交流」が生み出すものは何か?
- 歳月を経て芽吹いたある一つの事例。
- 市長とボランティアとの懇談会



vol.15 2004.1.7発行

- バラエティ豊かなアジア美術が大集合
- アジ美5周年 次なる5年に向けて
- 後期レジデンス・プログラム
- ボランティア
- 山口へ秋の研修旅行
- アジ美が結んだ恋



規格 A4 8ページ  
 編集/発行 福岡アジア美術館  
 企画・デザイン/編集 Artquest(vol.12)  
 CBX(vol.13~15)

新所蔵作品

新所蔵作品

新所蔵作品数

	購入	寄贈	合計
絵画	18	—	18
版画	62	—	62
彫刻	7	—	7
写真	43	—	43
その他	3	12	15
合計	133	12	145

新所蔵作品一覧

1 アノリ・ベレラ わたしは女王 V 2001 絵画 布、糸、造花、スパンコール、 アクリル絵具ほか・木箱 90×70×11 スリランカ	11 須田悦弘 雑草 2002 彫刻 顔料、木 2.5×4×4 日本	22 ウィリアム・サンダース 上海の劇役者 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 15.4×20.3 中国
2 アノリ・ベレラ わたしは女王 VI 2001 絵画 布、糸、造花、スパンコール、 アクリル絵具ほか・木箱 91×70×10 スリランカ	12 柳幸典 大東亜仮想通貨千羽鶴 2002 彫刻 印刷された紙、金属、木、 モーター、コンピューター 300×240×240 日本	23 ウィリアム・サンダース 上海の易者 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 21.1×26.6 中国
3 アノリ・ベレラ 思い出と形見 2001 絵画 布、糸、造花、写真、スパン コール、アクリル絵具ほか・木箱 99×56×12 スリランカ	13 サヤ・アエ ビルマ人親子 1909 絵画 水彩・布 85×72 ミャンマー	24 ウィリアム・サンダース 上海の中国女性の纏足 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 15.3×20.3 中国
4 アノリ・ベレラ もつれた蜘蛛の巣の中で I 2001 彫刻 ワイヤーの網、紙、布、レース、 糸、アクリル絵具、鉄ほか 121×64×38 スリランカ	14 サヤ・タウン 崩壊しの恋 1910-20年代 絵画 水彩・布 54.5×61.5 ミャンマー	25 ウィリアム・サンダース 手押し車に乗った上海婦人 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 15.1×20.2 中国
5 アノリ・ベレラ もつれた蜘蛛の巣の中で II 2001 彫刻 ワイヤーの網、紙、布、レース、 糸、アクリル絵具、鉄ほか 115×70×35 スリランカ	15 サヤ・ボン シュエダゴン・パゴダ 1917年頃 絵画 水彩・布 65.4×69.5 ミャンマー	26 ウィリアム・サンダース 上海のヨーロッパ人の商店 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 15.2×19.9 中国
6 ピナリー・サンビタック 乳房のストゥーバ(仏塔) 2000-2001 彫刻 絹 500×122 タイ	16 リン・ムホア(林木化) 潮州劇 1965 絵画 油彩・板 95×75 シンガポール	27 ウィリアム・サンダース 田舎の靴直し職人 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 21.2×27 中国
7 リン・ティエンミャオ(林天苗) 卵 #3 2001 彫刻 写真、綿布、糸玉 中国	17 チュア・チョンヨン 戦前の家、売出し中・ポーター@FT2 2003 その他 ビデオ(11分)、写真 マレーシア	28 ウィリアム・サンダース 上海バンド 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 21.2×26.9 中国
8 ボン・ホンチ(彭弘智) 1匹のラッシー 2000 写真 チバクローム・プリント、 ライトボックス 110×110 台湾	18 チュア・チョンヨン 戦前の家、売出し中・ポーター@FT2記録 2003 その他 ビデオ(40分) マレーシア	29 ウィリアム・サンダース シンガポールの中国人の建具屋 1870-90年代 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 21.5×26.9 中国
9 ボン・ホンチ(彭弘智) 1匹のダルメシアン 2000 写真 チバクローム・プリント、 ライトボックス 110×110 台湾	19 ウィリアム・サンダース 纏足の上海婦人 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 22.6×17.7 中国	30 作家不詳 壺のある旧上海呉城の城門 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 20.8×27.3 中国
10 須田悦弘 壺 2001 彫刻 顔料、木 11×12×12 日本	20 ウィリアム・サンダース 紙の傘をさした上海の果物売り 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 20.6×15.5 中国	31 作家不詳 刑罰を受ける上海の囚人たち 1870-90年代 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 14.4×19.4 中国
	21 ウィリアム・サンダース スープ売り 1870年頃 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 15×15 中国	32 作家不詳 上海、死刑場 1870-90年代 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 19.9×26.7 中国

33 作家不詳 上海の河南通り 1870-90年代 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 19.7×26.7 中国	46 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) エン驚船遊園 1910-30年代 版画 オフセット・紙 69×48 中国	61 ジョン・マントウオ(鄭曼陀) 中国福新たばこ会社ポスター 1916 版画 オフセット・紙 76.5×53 中国	75 作家不詳 亜細亜大油会社ポスター 1916 版画 リトグラフ・紙 77.5×51 中国
34 作家不詳 広東の街路 1870-90年代 写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 27.8×21.2 中国	47 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 酔眠芍薬園 1920-30年代 版画 オフセット・紙 75×50 中国	62 ジョン・マントウオ(鄭曼陀) 中華印書館ポスター 1910-20年代 版画 オフセット・紙 76×49 中国	76 作家不詳 五洲薬局ポスター 1920 版画 オフセット・紙 76×48.5 中国
35 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 上海徳字商事ポスター (紹祥拜月) 1918 版画 オフセット・紙 72×50.5 中国	48 フー・ボシアン(胡伯翔) 駐華英美たばこ会社ポスター 1929 版画 オフセット・紙 52×36.7 中国	63 ジョン・マントウオ(鄭曼陀) 上海三友美業社ポスター 1910-20年代 版画 オフセット・紙 76×53 中国	77 作家不詳 美孚行ポスター #1 1920 版画 オフセット・紙 39×51 中国
36 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 中国華東たばこ会社ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 74.5×50 中国	49 フー・ボシアン(胡伯翔) 駐華英美たばこ会社ポスター 1929 版画 オフセット・紙 52×36.7 中国	64 ジョン・マントウオ(鄭曼陀) 元元帽莊ポスター 1910-20年代 版画 オフセット・紙 77×52 中国	78 作家不詳 美孚行ポスター #2 1920 版画 オフセット・紙 39×51 中国
37 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 華成たばこ会社ポスター 1920-30年代 版画 オフセット・紙 72×51 中国	50 フー・ボシアン(胡伯翔) 駐華英美たばこ会社ポスター 1929 版画 オフセット・紙 52×36.7 中国	65 ジョン・マントウオ(鄭曼陀)、 シュ・ヨンチン(徐詠青) 上海双龍茶店ポスター 1910-20年代 版画 オフセット・紙 77×53 中国	79 作家不詳 上海大昌たばこ会社ポスター 1920 版画 オフセット・紙 89×60 中国
38 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 中国華東たばこ会社ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 61×90.5 中国	51 フー・ボシアン(胡伯翔) 駐華英美たばこ会社ポスター 1929 版画 オフセット・紙 52×36.7 中国	66 ジョウ・バイション(周柏生) 南洋兄弟たばこ会社ポスター 1926 版画 オフセット・紙 91×61 中国	80 作家不詳 怡和車製糖会社ポスター 1920 版画 リトグラフ・紙 73.5×51.5 中国
39 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 広生行ポスター 1920-30年代 版画 オフセット・紙 75.5×53 中国	52 ジン・メイション(金梅生) 母子とコリー犬 1910-30年代 版画 オフセット・紙 74×50 中国	67 ジョウ・バイション(周柏生) 新中華電機皮印刷所ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 76×51.5 中国	81 作家不詳 中国華安群保寿会社ポスター 1921 版画 オフセット・紙 134.5×52 中国
40 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 五洲薬局ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 83×38 中国	53 ジン・メイション(金梅生) 女性像 1910-30年代 版画 オフセット・紙 66×45.5 中国	68 ジョウ・バイション(周柏生) 南洋兄弟たばこ会社ポスター 1910-20年代 版画 オフセット・紙 88×60 中国	82 作家不詳 保險会社ポスター 1923 版画 オフセット・紙 37.5×105.5 中国
41 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 水玉ドレスの女性 1920-30年代 版画 オフセット・紙 75×48 中国	54 ジン・メイション(金梅生) 青いスカートの女性 1930年代 版画 オフセット・紙 78×56 中国	69 シュ・ヨンチン(徐詠青) 燃料会社ポスター 1924 版画 オフセット・紙 75×50 中国	83 作家不詳 中国国営鉄道ポスター 1923 版画 オフセット・紙 105×71 中国
42 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 女性像(日傘と帽子) 1910-30年代 版画 オフセット・紙 75×51 中国	55 ジン・メイション(金梅生) 女性像(桃とピンクのドレス) 1920-30年代 版画 オフセット・紙 75.5×51 中国	70 フー・ウェイミン(胡維敏) たばこ会社ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 77×52 中国	84 作家不詳 公平商會会社ポスター 1924 版画 オフセット・紙 50×74 中国
43 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 木の側に立つ女性 1910-30年代 版画 オフセット・紙 75×51 中国	56 ジン・メイション(金梅生) ローラースケートをする二人の女性 1920-30年代 版画 オフセット・紙 64×42 中国	71 フー・ウェイミン(胡維敏) 女性像(桃と緑のドレス) 1920-30年代 版画 オフセット・紙 76×51 中国	85 作家不詳 好倫保險会社ポスター 1924 版画 オフセット・紙 38×104.5 中国
44 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) 腰掛ける女性 1910-30年代 版画 オフセット・紙 77×50.5 中国	57 ジン・メイション(金梅生) オウムと女性 1920-30年代 版画 オフセット・紙 65×46 中国	72 リアン・ディンミン(梁鼎銘) たばこ会社ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 74×50 中国	86 作家不詳 英商安利保險会社 1924 版画 オフセット・紙 75.5×52.5 中国
45 ハン・ジン/ジン画室 (杭禪英/禪英画室) ピンクのスカートの女性 1917 版画 リトグラフ・紙 74×48 中国	58 ジン・メイション(金梅生) ボルゾイ犬を連れて女性 1939 版画 オフセット・紙 67×46.5 中国	73 作家不詳 大英那頓火災生命保險会社ポスター 1913 版画 リトグラフ・紙 73.5×50.5 中国	87 作家不詳 新華合群水火保險会社ポスター 1925 版画 オフセット・紙 75.5×50.7 中国
	59 シエ・ジグワン(謝之光) 華成たばこ会社ポスター 1910-30年代 版画 オフセット・紙 53×77 中国	74 作家不詳 保險会社ポスター 1914 版画 リトグラフ・紙 68.5×50.5 中国	88 作家不詳 派律脱たばこ会社ポスター 1910年代 版画 リトグラフ・紙 69×40 中国
	60 ジョン・マントウオ(鄭曼陀) 中国鋼珠輪會社ポスター 1917 版画 リトグラフ・紙 56×75.5 中国		89 作家不詳

- 90 作家不詳  
西園雅集図  
1910年代  
版画 リトグラフ・紙  
74.5×45 中国
- 91 作家不詳  
華成たばこ会社ポスター  
1910-30年代  
版画 オフセット・紙  
77×53.5 中国
- 92 作家不詳  
福祿寿三星図  
1910-30年代  
版画 オフセット・紙  
77.5×53 中国
- 93 作家不詳  
和興会社ポスター  
1910-30年代  
版画 オフセット・紙  
74.5×49.5 中国
- 94 作家不詳  
英商利華会社ポスター  
1910-30年代  
版画 オフセット・紙  
87.5×49 中国
- 95 作家不詳  
張勳画扇図  
1910-30年代  
版画 オフセット・紙  
104×38 中国
- 96 作家不詳  
孔子峡谷之会図  
1910-30年代  
版画 オフセット・紙  
115.5×76 中国
- 97 作家不詳  
香り付き石鹸(エッセンス・オブ・ローズ)のパッケージ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
3.9×10×19.6 中国
- 98 作家不詳  
石鹸のパッケージ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
3.3×8.8×34.1 中国
- 99 作家不詳  
チラシ(新婚組)  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
17.2×12.1 中国
- 100 作家不詳  
インダンスレン布のチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
18.0×12.9 中国
- 101 作家不詳  
アンアン・カラー布のチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
17.8×12.8 中国
- 102 作家不詳  
マカオ益隆会社のチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
20.8×17.4 中国
- 103 インダンスレン布のチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
18.0×12.8 中国
- 104 軟膏のチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
25.2×17.7 中国
- 105 チラシ(康健美人)  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
24.6×18 中国
- 106 マカオ益隆会社のチラシ(花火)  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
26.5×16.1 中国
- 107 紅高染たばこのチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
26.9×19 中国
- 108 奇異錠のチラシ  
1920-40年代  
その他 オフセット・紙  
26.9×19.1 中国
- 109 ウェイ・グアンチン(魏光慶)  
紅い壁-家内安全  
2002  
絵画 油彩・画布  
166×288 中国
- 110 ジャン・ダリ(張大力)  
破壊と対話(朝陽門外通り)  
1998  
写真  
150×100 中国
- 111 ジャン・ダリ(張大力)  
破壊(世界金融センター)  
1998  
写真  
150×100 中国
- 112 ジャン・ダリ(張大力)  
破壊(紫禁城)  
1998  
写真  
150×100 中国
- 113 ジャン・ダリ(張大力)  
対話(高級ホテル)  
1999  
写真  
150×100 中国
- 114 ジャン・ダリ(張大力)  
1999102b  
1999  
写真  
90×60 中国
- 115 ジャン・ダリ(張大力)  
2000104  
2000  
写真  
90×60 中国
- 116 ジャン・ダリ(張大力)  
200141b  
2001  
写真  
90×60 中国
- 117 ジャン・ダリ(張大力)  
200149a  
2001  
写真  
90×60 中国
- 118 ジャン・ダリ(張大力)  
2001410a  
2001  
写真  
90×60 中国
- 119 ジャン・ダリ(張大力)  
2001413  
2001  
写真  
90×60 中国
- 120 ジャン・ダリ(張大力)  
200143b  
2001  
写真  
90×60 中国
- 121 ジャン・ダリ(張大力)  
200232a  
2002  
写真  
90×60 中国
- 122 ジャン・ダリ(張大力)  
200233a  
2002  
写真  
90×60 中国
- 123 ジャン・ダリ(張大力)  
2002512b  
2002  
写真  
90×60 中国
- 124 マヘンドラナート・ムコパッダエ  
聖なるラクシュミー  
1920年代初頭  
絵画 油彩・画布  
105×86.7 インド
- 125 サティッシュ・グジュラル  
有罪者  
1957  
絵画 油彩・厚紙  
121.8×83.3 インド
- 126 ランビール・シン・カレカ  
二人の女とトカゲ  
1986-2002  
絵画 油彩・画布(麻)  
61.1×91.5 インド
- 127 テジ・バドゥール・チトラカール  
父祖に捧ぐ  
1966  
絵画 油彩・画布  
120×76 ネパール
- 128 ウダイ・チャラン・シュレスタ  
シャクティ  
1995-2003  
絵画 油彩・画布、古い硬貨  
119×84 ネパール
- 129 ティネシュ・チャラン・シュレスタ  
ラクシュミー  
1999  
絵画 油彩・画布  
46×36 ネパール
- 130 ティネシュ・チャラン・シュレスタ  
ガンガー  
2001  
絵画 ポスターカラー・画布  
47×36 ネパール
- 131 ティネシュ・チャラン・シュレスタ  
シヴァとパールヴァティーの家族  
2002  
絵画 ポスターカラー・画布  
56×48 ネパール
- 132 ラギニ・ウパッダエ・グレラ  
女  
1999  
絵画 油彩・画布  
76×112 ネパール
- 133 ラギニ・ウパッダエ・グレラ  
豚の口に乘るりんご  
1999  
絵画 油彩・画布  
97×115 ネパール
- 134 作者不詳(カンタ)  
千花弁の蓮とヒンドゥーの神々  
2001  
その他 木綿布・刺繍  
130×200 バングラデシュ

- 135 ライオネル・ウェント  
若さ/メソフォルテ  
1933  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
36.1×28.5 スリランカ
- 136 ライオネル・ウェント  
題不詳[天日千しの陶器 III]  
1935-37年頃  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
38.1×30.4 スリランカ
- 137 ライオネル・ウェント  
シンハラ人漁師のトルソ  
1936-37年頃  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
28.4×37.9 スリランカ
- 138 ライオネル・ウェント  
少年と波(連作より)  
1938年頃  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
30.2×40.6 スリランカ
- 139 ライオネル・ウェント  
題不詳[カーソン社の広告 II]  
1939-40年頃  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
30.3×25.5 スリランカ
- 140 ライオネル・ウェント  
題不詳[橋、鳥、門のある海景]  
1942年頃  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
28×37.7 スリランカ
- 141 ライオネル・ウェント  
南に向かう独身者  
不詳(1933-37年頃か)  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
57×40.1 スリランカ
- 142 ライオネル・ウェント  
題不詳[少年と椰子の葉]  
不詳(1934-38年頃か)  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
38×30.4 スリランカ
- 143 ライオネル・ウェント  
題不詳  
[黒のヴェッティをまとう男のヌード]  
不詳(1934-38年頃か)  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
37.9×26.5 スリランカ
- 144 ライオネル・ウェント  
題不詳[男のヌードと本]  
不詳(1934-38年頃か)  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
57.1×36.6 スリランカ
- 145 ライオネル・ウェント  
題不詳[ベランダからの眺め]  
不詳  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
37.9×25.6 スリランカ

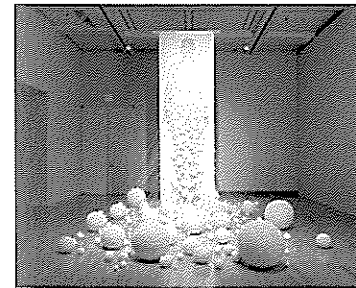
番号 制作者  
タイトル  
制作年  
ジャンル 素材  
サイズ(高さ×幅×奥行cm) 制作地



ウィリアム・サンダース  
纏足の上海婦人  
1870年頃  
写真 アルビュメン・プリント(鶏卵紙) 22.6×17.7 中国



リン・ムホア(林木化)  
潮州劇  
1965  
絵画 油彩・板  
95×75 シンガポール



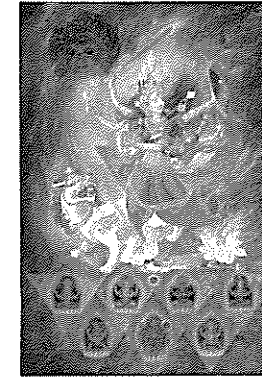
リン・ティエンミャオ(林天苗)  
卵 #3  
2001  
彫刻 写真、綿布、糸玉  
中国



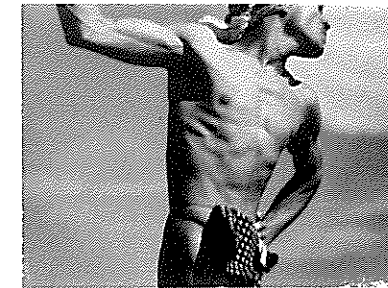
ランビール・シン・カレカ  
二人の女とトカゲ  
1986-2002  
絵画 油彩・画布(麻)  
61.1×91.5 インド



サティッシュ・グジュラル  
有罪者  
1957  
絵画 油彩・厚紙  
121.8×83.3 インド



ウダイ・チャラン・シュレスタ  
シャクティ  
1995-2003  
絵画 油彩・画布、古い硬貨  
119×84 ネパール



ライオネル・ウェント  
シンハラ人漁師のトルソ  
1936-37年頃  
写真(ゼラチンシルバープリント)  
28.4×37.9 スリランカ



作者不詳(カンタ)  
千花弁の蓮とヒンドゥーの神々  
19世紀中頃  
その他 木綿布・刺繍  
130×200 バングラデシュ

## 入館者数

26

入館者数

### 年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
累計	1,483				1,250,189	843

### 月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	27,155	11,721	8,457	16,775	44,429	22,165	33,152	71,363	31,896	7,765	6,412	7,513	288,803

### あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	5	10	4	7	5	15	4	6	5	1	3	5	70
人数	378	735	376	460	351	3,114	365	554	292	32	204	492	7,353

### あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
累計	415	41,928

### あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	15	1,212
セミナー	7	407
アーティストトーク	2	225
映画	26	3,667
ボランティア研修会	5	269
演劇	7	681
音楽	2	150
落語	1	120
表彰式	1	100
その他	4	522
合計	70	7,353

27

入館者数

### 常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	有料観覧者数			無料観覧者数			日平均		
				小計	一般	高・大	小・中	小計	小・中		その他	
常設展		307	56,623	36,398	32,121	4,277	0	20,225	2,718	17,507	184	
特別企画展	謎の古代文明展	7月19日 - 9月7日	44	44,975	37,779	30,370	2,553	4,856	7,196	0	7,196	1,022
	トルコ三大文明展	10月12日 - 12月7日	49	115,671	93,118	83,782	5,385	3,951	22,553	0	22,553	2,361
	現代の東南アジア美術	12月18日 - 3月7日	64	6,707	4,527	3,823	704	0	2,180	0	2,180	105
合計			167,353	135,424	117,975	8,642	8,807	31,929	0	31,929	3,488	

### 貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

企画展名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
白州正子の世界	3月14日 - 4月27日	23	23,925	骨董や日常の品々、匠たちの仕事など約130点を展示
セバスチャン・サルガド写真展「Exodos国境を越えて」	5月3日 - 6月1日	26	8,139	「難民・移民・亡命者」をテーマにモノクローム写真作品を約300点展示
第13回アジア美術家連盟日本委員会展	6月12日 - 6月17日	6	1,415	2003年10月香港で開催の「アジア国際美術展」参加作品を約15点展示
The 2nd Tracking展	6月26日 - 7月1日	6	246	コンピュータ・映像作品の展示
第18回水墨祥泉会	7月3日 - 7月8日	6	1,719	水墨画を約80点展示
第4回FCPC写真教室作品展	7月3日 - 7月8日	6	1,023	受講生による作品展で約150点展示
瑞波32回展	7月10日 - 7月15日	6	1,430	会員・推薦出品者・海外招待作家による絵画作品を約150点展示
2003デジタルアート大賞展	9月13日 - 9月28日	14	2,627	デジタルアート・デザインの学生向け公募展で部門別入選作品を約150点展示
アンティーク・ビスドールの世界展	3月20日 - 5月5日	10	2,458	ビスドール、ドールハウス、など当時の生活や物語を想起させる数々の作品を展示
合計		103	42,982	

### 貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

企画展名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
シオバプロジェクト「現代絵画への冒険展」	3月27日 - 4月1日	1	97	九州芸術工科大学の公開講座受講者による絵画を約15点展示
東松照明写真展「アッサラム アレイクン」	4月3日 - 4月8日	6	772	戦火に襲われる以前の美しいアフガニスタンの風景作品を約130点展示
韓承九個人展-欲・色・無色天	4月10日 - 4月15日	6	336	伝統・現代仏画を50点展示
九州造形短期大学田辺教室同窓生グラフィックアート展	4月17日 - 4月22日	6	496	グラフィックアートのパネル作品を60点展示
長倉洋海写真展「愛しの大地アフガニスタン」	5月1日 - 5月13日	12	1,204	アフガニスタン復興の人々の取材作品を約100点展示
九州日中水墨画研究会5周年記念展	5月15日 - 5月20日	6	665	日中交流展で掛軸作品を約80点展示
針貝あゆみ個展「楽園創造」	5月22日 - 5月27日	6	301	「楽園とは何か?」をテーマにした80~100号の作品を展示
子どもたちが描く LOVE & WAR	5月29日 - 6月3日	6	504	子ども達の心の元気を願った作品展で絵画を約30点、写真を5点展示
木本恒子教室グループ展	6月12日 - 6月17日	6	1,946	刺繍という概念を見直した作品展で額・ついでに・掛け軸などを展示
第4回福岡・釜山交流写真展	6月19日 - 6月24日	6	357	日本・韓国釜山の作家による交流写真展で約120点展示
日中友好児童絵画展	6月26日 - 7月1日	6	1,015	日中両国間の幼稚園児・児童の絵画を約200点展示
NHK福岡文化センター受講生作品発表会	7月3日 - 7月8日	6	1,104	油彩画・水彩画・水墨画・写真を約250点展示
スリランカの子供たちが描いた「明日の地球環境を考える」絵画展	7月17日 - 7月22日	6	336	スリランカ国交樹立50周年記念イベントで絵画作品を約100点展示
大邱大専攻デザイン研究所教授作品展	7月24日 - 7月29日	6	203	教授20名による立体・平面(工芸)作品を約50点展示
ラオス伝統織物展	7月31日 - 8月5日	6	333	チャンタソン・インダフォン氏のコレクションを加えた約50点展示
第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1	8月9日 - 9月2日	22	1,913	平成15年度前期の招聘作家による潜在制作展
第32回在日朝鮮学生美術展福岡展	9月4日 - 9月7日	4	772	在日朝鮮学生初中級学校の児童・生徒の全国巡回展
金洙學個展	9月11日 - 9月16日	6	385	九州芸術工科大学大学院・韓国留学生の個展で金属彫刻作品を約20点展示
第15回MOA美術館福岡児童作品展	9月18日 - 9月23日	6	1,307	児童絵画公募展で入選作品を約120点展示
第15回見聞会水墨画・彩墨画展	9月25日 - 9月30日	6	1,078	水墨画・額装・掛軸等の作品を約80点展示
九州・京都陶芸八人の会展	10月2日 - 10月7日	6	716	京都2名・佐賀2名・福岡4名による作品展
第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2	12月20日 - 1月18日	20	1,677	平成15年度後期の招聘作家による潜在制作展
上野彦馬賞フォトコンテスト	1月22日 - 1月27日	6	770	一般と中・高校生部門からなる公募展で入賞作品を62点展示
博多区芸術作品展	1月29日 - 2月1日	4	550	博多区民の絵画・写真の公募展で入選作品を約50点展示
アート 横断II SELF-インのビデオアート	2月7日 - 3月21日	38	2,517	ゲスト・キュレーター:ヨハン・バイナップル氏の企画展
佐賀県立有田工業大学卒業制作展	3月25日 - 3月30日	6	491	食器・照明器具・インテリア小物等の陶磁器作品を約150点展示
合計		215	21,845	

## 活動記録

### 平成15年

- 4月 5日 遠山敦子文部科学大臣来館
- 5月 2日 「セバスチャン・サルガド写真展」開会式
- 5月15日 招聘美術作家ジャカパン・ヴィラシニークン氏来日(8月15日まで滞在)
- 5月19日 招聘美術作家チュルテム・ポルドバートル氏来日(8月19日まで滞在)
- 5月27日 観覧者100万人達成(表彰式)
- 6月 9日 招聘美術研究者ケリー・ウェン氏来日(9月6日まで滞在)
- 6月16日 「ライオネル・ウェント写真展」作品収蔵者ナリン・トマル氏来館
- 6月24日 駐日フランス大使館文化担当官来館
- 7月11日 平成15年度 第1回美術館協議会
- 7月19日 「謎の古代文明展」開会式
- 7月27日 「市長の施設訪問」実施
- 8月 9日 「第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展PART1」開会式
- 9月15日 中国・広州市姉妹都市友好訪問団一行来館
- 9月18日 第14回福岡アジア文化賞受賞者徐冰展開会
- 9月19日 第14回福岡アジア文化賞受賞者ディック・リーの関係者来館
- 9月21日 徐冰氏市民フォーラム
- 9月21日 北京青年報紙編集員Mr. Tong Qingan外11名来館
- 9月24日 招聘美術作家ハヌラ・ホセア氏来日(12月22日まで滞在)
- 9月24日 招聘美術作家リュウ・リユン氏来日(12月23日まで滞在)
- 9月29日 招聘美術研究者ハスヌル・ジャマル・サイドン氏来日(12月23日まで滞在)
- 10月12日 「トルコ三大文明展」開会式  
桂宮宣仁親王来館
- 10月28日 平成15年度 美術資料収集審査会
- 10月28日 中国・広州市教育交流代表団一行来館
- 10月28日 「ライオネル・ウェント写真展」作品収蔵者ナリン・トマル氏及びマハジット・シン氏来館
- 11月17日 中国・広州市科学技術局訪問団一行来館
- 11月21日 第5回企画運営会議
- 12月 9日 ブータン国立図書館館長ミニャク・トゥルク氏来館
- 12月18日 「現代の東南アジア美術」開会式
- 12月19日 平成15年度 第2回美術館協議会
- 12月20日 「第5回アーティスト・イン・レジデンスの成果展PART2」開会式
- 12月25日 仕事納め(12月26日～1月1日まで休館)

### 平成16年

- 1月23日 環境省大臣官房審議官小林光氏来館
- 2月 3日 「インドのビデオアート展」ゲストキュレーター・ヨハン・バイナップル氏来館
- 2月 6日 北海道立近代美術館「Soul of Asia福岡アジア美術館コレクション NOW」開会
- 2月13日 オーストラリア・シドニー現代美術館館長エリザベス・マグレガー氏来館
- 3月6、7日 「アジア楽市楽座2004」開催
- 3月 7日 開館5周年記念セミナー「広まりゆくアジアの美術教育」開催
- 3月20日 「アンティーク・ビスクドールの世界展」開会式

概要



アジア美術の独自の創造を目指す一助とするため、  
アジア近現代美術を通して人々が集い、  
互いに理解し、創造、発信するアジア美術の交流の場とする。

## 1 基本理念

また、世界的に有数の質の高いアジア近現代美術作品の集積を生かし、  
展示、収集のみならず、日常的なアジアとの交流、  
調査研究活動を積極的に展開するとともに、  
アジアの芸術家や研究者等と日本の芸術家、研究者、  
市民が互いに創り、学びあうことにより、  
新たな創造と相互理解を促す機会を提供する。

## 2 活動内容

### 1 美術交流・研究事業

アジアの作家や研究員等を福岡に招聘し、美術館で  
ライブの創作活動を公開しながら、市民と一緒に作品  
を創作し、また、最新の研究成果を発信する等、多彩  
な美術交流事業を日常的に実施する。

- (1) アジアからの滞在作家との交流事業  
市民共同創作事業  
実技講座  
滞在制作展覧会  
滞在作家講演会

- (2) 調査研究事業  
国内外の研究者によるアジア近現代美術の作家、  
作品、美術史等の研究成果の発表として展覧会や  
講演会を企画、開催する。

人材育成、支援  
・アジアの美術作家や研究者等の支援、育成、協  
力(留学学芸員受入れ、派遣等)

地域交流  
・アジア美術の背景にあるアジア文化について、  
多くの市民が気楽に参加し、アジアを身近に感  
じることができるイベントを開催する。

### 2 展示事業

- (1) コレクション展示  
収蔵品を展示することでアジア近現代美術の  
流れをたどり、また、ジャンル別やテーマ別にアジ  
ア美術作品を紹介する。

- (2) 企画展示  
特徴的なアジア近現代美術をシリーズで紹介  
する。  
・近代美術シリーズ  
・現代アジアの作家シリーズ  
・アート 横断シリーズ  
・生活とアートシリーズ

- (3) 特別企画展  
アジア美術の最新動向を紹介する「福岡アジア  
美術トリエンナーレ」を3年毎に開催する。  
アジアのみならず、幅広い分野の特別企画展を主催、  
共催する。

### 3 収集事業

- (1) 収集方針  
アジア美術の独自性を示す優れた作品を、近現  
代を中心に収集する。
- (2) 収集作品の対象範囲  
対象範囲  
・パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北・  
以西
- 対象とする時代範囲  
・原則として、19世紀から現代までの近現代を中  
心とする時代。ただし、アジア近現代美術の流  
れを研究するうえで必要な近代以前の美術資料  
の収集も行う。

### 4 教育普及事業

- (1) 美術情報コーナー  
福岡アジア美術館で開催する様々な催し物の  
案内や収蔵品、展示作品の紹介、その他の特集コ  
ーナーを設け、アジア美術の理解を深める資料を  
提供する。  
さらに、アジア全域にわたって美術を紹介する  
オリジナルの番組ビデオ「アジアの美シリーズ」  
を上映する。
- (2) アジア美術紹介ビデオ、出版物等  
アートビデオをシリーズで上映、また、収蔵品ガ  
イドブックやニュースレター、インターネット等に  
より教育普及を図る。
- (3) あじびホール  
美術交流事業や展覧会にあわせて、美術教育プ  
ログラム、講演会やシンポジウム等を開催する。  
また、ミニコンサートや小演劇、上映会等、文化・  
芸術活動を楽しむ機会を提供する。

### 3 施設概要

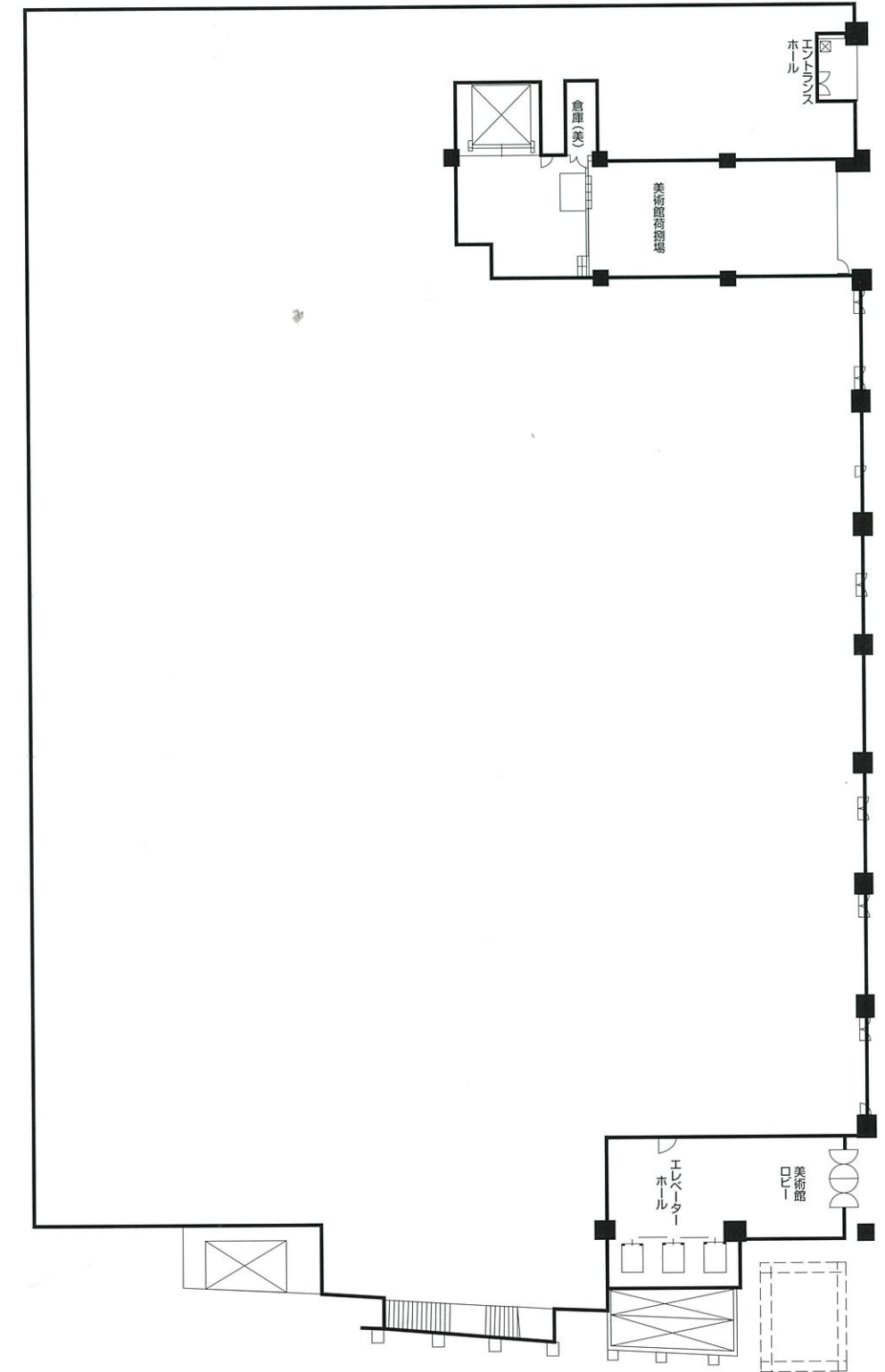
設置者 福岡市長  
 設立年月日 平成11年(1999)3月6日  
 名称 福岡アジア美術館  
 所在 福岡市博多区下川端町3番1号(博多リバーライン)  
 面積 建物面積151,595.91のうち区分所有  
 専有面積9,101.05㎡  
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下4階地上  
 13階のうちの1階及び7階,8階  
 設計者 日建設計・観光企画設計社・都市未来ふ  
 くおか・西日本技術開発・設計共同企業体  
 取得額 保留床取得価額12,552,002千円

[各室面積表一覽] (単位:m)

地下1階	61.69
1,2,3号EVピット	31.19
13号EVピット	30.50
<b>1階</b>	<b>398.34</b>
1,2,3号EV	47.47
13号EV	36.60
美術館ロビー	52.01
EVホール	50.97
美術館荷捌場	66.53
倉庫	11.24
搬入車路	133.52
<b>7階</b>	<b>4,233.33</b>
企画ギャラリー	1,004.58
物入(1)	8.77
控室	23.01
ロビー(2)	61.69
機械室(3)	131.18
チャンパー(機3)	28.43
EVホール	47.36
階段	19.43
荷捌室	110.95
通路	335.79
便所前室	12.05
便所(客・男)	22.40
便所(客・女)	31.84
便所(客・車)	5.84
ロビー(2)	214.10
展示機材庫	56.55
チャンパー	23.38
裏通路	37.40
M7F機械室	59.40
機械室(2)	92.33
アジアギャラリー	1,110.56
ミュージアムショップ	77.60
商品倉庫	20.38
美術情報コーナー	125.52
彫刻ラウンジ	516.24
コーヒースタンド	14.39
中8階ホール	42.16
<b>8階</b>	<b>4,407.69</b>
1,2,3号EV機械室	56.11
格納庫(1)	171.00
収蔵庫(1)	152.02
準備室	87.60
交流スタジオ	223.30
暗室(1)	9.90

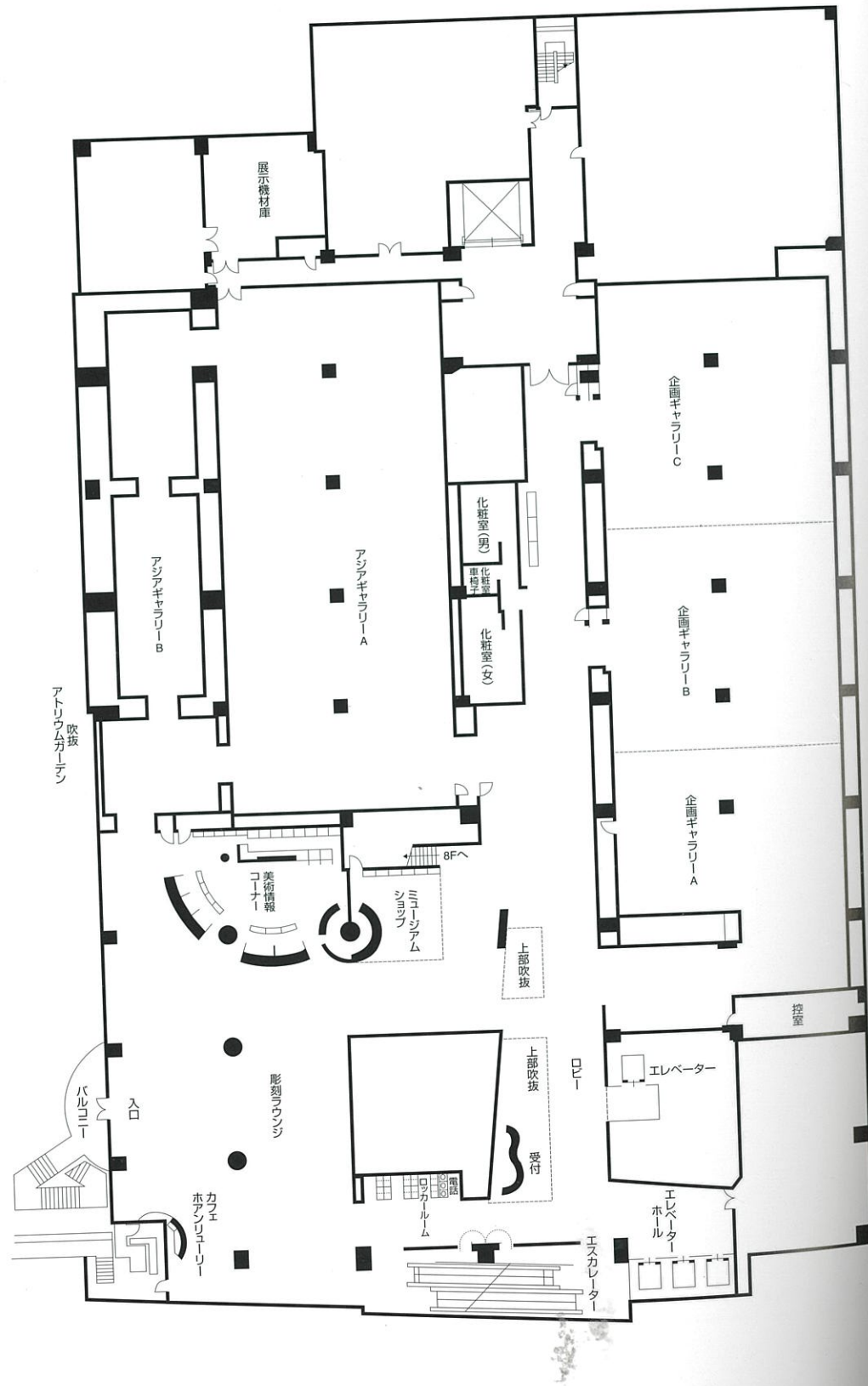
8階	倉庫(1)	23.70
	交流ギャラリー	369.54
	倉庫	19.11
	機械室(1)	128.96
	前室(機1)	26.13
	階段	14.82
	格納庫(2)	17.94
	撮影室	87.30
	暗室(2)	6.50
	便所(男・女)	7.02
	荷捌室	167.84
	警備室	14.85
	倉庫(2)	30.80
	あじびホール	159.53
	前室(あじび)	7.35
	前室(あじび)	5.39
	調整映写室	23.50
	ロビー	360.43
	収蔵庫(2)	252.27
	前室(収蔵2)	11.10
	機械室(4)	25.32
	映像資料室	35.20
	AVステーション室	52.49
	資料カード室	40.45
	学芸図書室	119.84
	図書閲覧室	44.14
	階段室	13.42
	便所(客・男)	18.44
	便所(客・女)	23.74
	便所(客・車)	6.77
	医務室	6.73
	授乳室	14.74
	便所(職・男)	17.54
	便所(職・女)	16.41
	女子ロッカー	14.24
	男子ロッカー	11.44
	給湯室	6.85
	物品倉庫	32.00
	印刷室	13.87
	監視員控室	30.88
	ボランティア室	45.95
	ミーティングルーム	41.02
	機械室(2)	22.87
	機械室(3)	144.90
	チャンパー(機3)	20.21
	倉庫(3)	22.20
	招待者用研究室(1)	32.76
	招待者用研究室(2)	32.79
	招待者用研究室(3)	32.79
	倉庫(4)	9.88
	会議室	122.63
	学芸研究室	81.75
	学芸・管理課	245.27
	館長室	41.48
	前室(館長)	8.53
	応接室(1)	30.33
	応接室(2)	35.92
	休憩室	21.59
	脱衣室	7.70
	シャワー室	2.00
	通路	135.81
	廊下	290.79
<b>合計</b>		<b>9,101.05</b>

1F

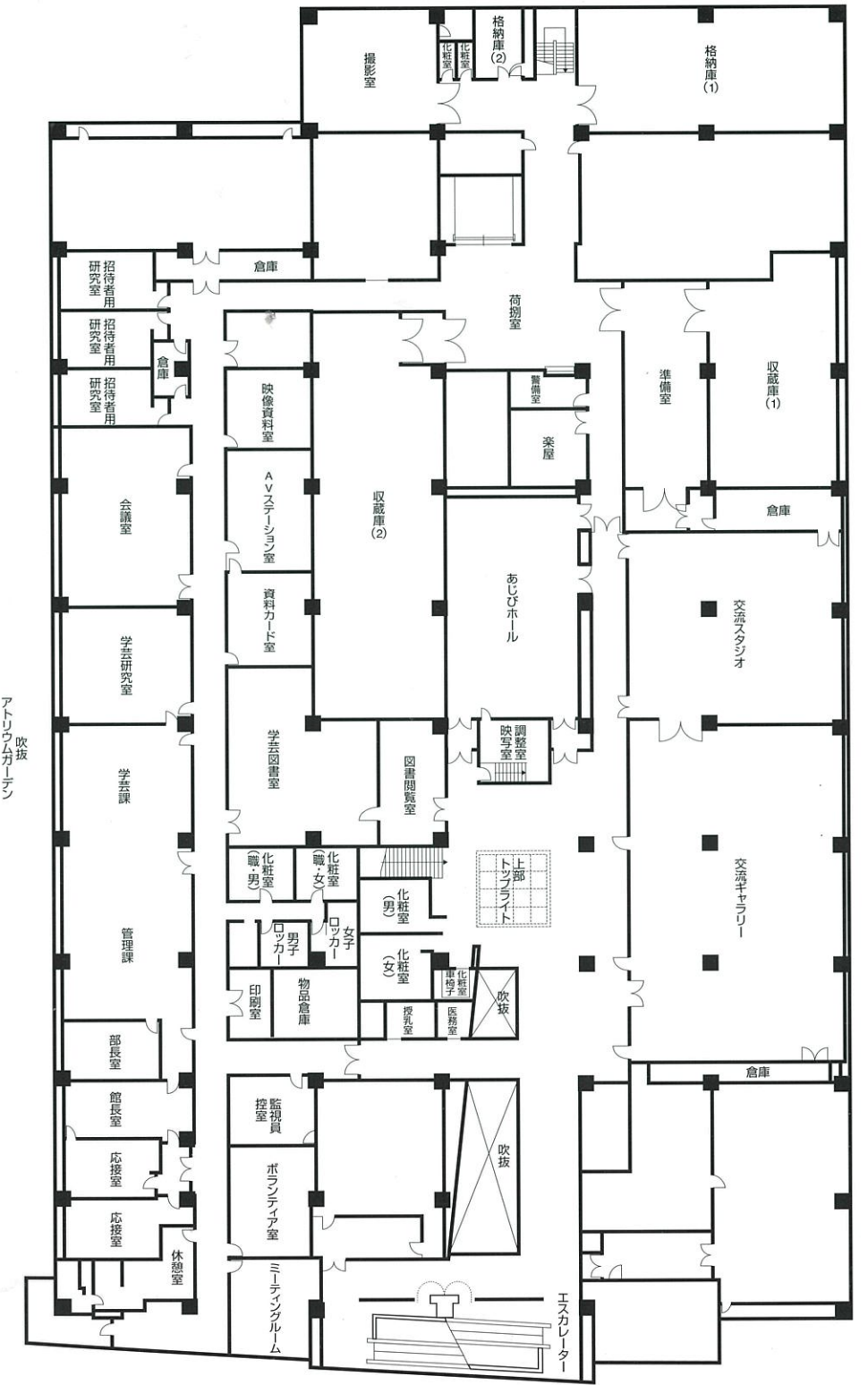


3 施設概要

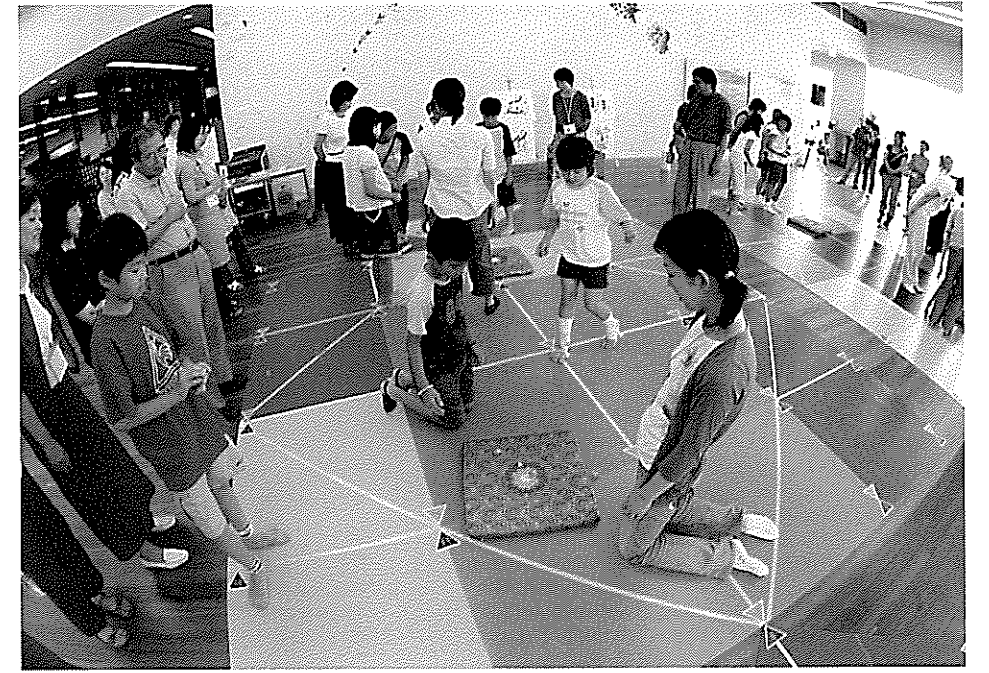
7F



8F



平成 4年(1992) 6月	市長がアジア近代美術館の建設意向を表明
平成 5年(1993) 7月	アジア美術館整備構想委員会の設置、開催(答申までに2回開催)
平成 7年(1995) 2月	アジア美術館整備構想委員会の答申 市長が下川端市街地再開発ビルでの設置を表明
平成 7年(1995) 3月	第1回アジア美術館建設専門委員会開催(開館までに7回開催)
平成 7年(1995) 4月	平成7年度当初予算に調査費を計上、福岡市美術館内に建設担当課の設置(1課2係4人)
平成 7年(1995) 11月	基本方針決定
平成 7年(1995) 12月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買に関する覚書を締結
平成 7年(1995) 12月	美術館用建物取得。一般会計補正予算、福岡市議会で原案可決
平成 8年(1996) 1月	下川端地区市街地再開発ビル起工
平成 8年(1996) 2月	第1回アジア美術館市民懇談会開催(開館までに5回開催)
平成 8年(1996) 3月	下川端地区市街地再開発組合と保留床売買契約書を締結
平成 8年(1996) 4月	建設担当課の増員(1課2係5人、参与及び担当部長の兼務発令)
平成 8年(1996) 8月	第1回アジア美術館資料収集審査会開催(開館までに4回開催)
平成 9年(1997) 3月	土地共有持分移転登記
平成 9年(1997) 4月	建設担当課の設置(2課3係8人)
平成 9年(1997) 7月	開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」(正式名称:第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999[第5回アジア美術展])実行委員会設立総会
平成10年(1998) 2月	正式館名を公募。「福岡アジア美術館」に決定 (応募件数4,079点[2,775人])
平成10年(1998) 2月	開館記念展の国際協力者会議開催
平成10年(1998) 9月	福岡アジア美術館条例制定
平成10年(1998) 10月	建設工事完了 竣工検査
平成10年(1998) 12月	建築物引渡し
平成11年(1999) 1月	福岡アジア美術館へ組織変更 (館長以下2課3係12人[嘱託5人]体制)、美術館へ事務所移転
平成11年(1999) 2月	建築物登記
平成11年(1999) 3月1日	博多リバレイン竣工式
平成11年(1999) 3月3日	福岡アジア美術館開館記念式典
平成11年(1999) 3月6日	福岡アジア美術館開館、博多リバレイン開業
~6月6日	開館記念展「第1回福岡トリエンナーレ」開催
平成11年(1999) 5月	収蔵品を福岡市美術館から移転
平成11年(1999) 6月	収蔵品展示の開始
平成14年(2002) 3月21日	「第2回福岡トリエンナーレ」開催(6月23日まで)
平成15年(2003) 5月27日	観覧者100万人達成



上: チュルテム・ボルドバートル(モンゴル)  
ワークショップ「モンゴルの古代のゲームで遊ぼう!」  
下: リェウ・リユン(中国)  
ワークショップ「中国の剪紙を作ろう!」

## 名簿

## 福岡アジア美術館企画運営会議委員

富山 秀男 プリヤストン美術館館長  
 陰里 鏡郎 女子美術大学大学院美術研究科教授  
 中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
 野口 郁子 福岡市女性センターアミカス館長  
 藤原 恵洋 九州大学大学院 芸術工学研究院助教授

## 福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

乾 由明 兵庫県参与  
 中村 英樹 名古屋造形芸術大学教授  
 後藤 新治 西南学院大学教授  
 ソンボン・ドボン チェンマイ大学美術学部助教授(タイ)

## 福岡市美術館協議会(福岡アジア美術館を含む)

会長 大西 修也 九州芸術工科大学教授  
 副会長 吉岡 紋 作家  
 委員 足達 千鶴子 福岡市地域婦人会連絡協議会副会長  
 // 石橋 美恵子 福岡市社会教育委員  
 // 出田 紘子 多々良中学校長  
 // 木戸 龍一 社団法人 福岡県美術協会理事長  
 // 京谷 啓徳 九州大学助教授  
 // 小林 俊子 福岡市青少年団体連絡会議理事  
 // 佐竹 正浩 財団法人 文化財団 専務理事  
 // 豊田 晃一 福岡市老人クラブ連合会副会長  
 // 中西 久吉 福岡市美術展運営委員  
 // 濱砂 圭子 育児情報紙編集長  
 // 古川 智次 福岡大学教授  
 // 松尾 浩二 志賀島小学校長  
 // 松尾 孝司 株式会社 西日本新聞社文化部長  
 // 三浦 勇二 福岡西陵高等学校長

## 福岡アジア美術館職員

館 長 安永 幸一  
 事業管理部長 牟田 勝則  
 管理課長 野口 裕  
 管理係長 栗須 ひろ子  
 事務吏員 茅嶋 克之  
 事務吏員 成富 真弓  
 事務吏員 大木 良一  
 囑託員 音在 義則  
 囑託員 小国 博基  
 学芸課長 黒田 雷児  
 収集展示係長 ラワンチャイケン寿子  
 学芸員 山木 裕子  
 学芸員 五十嵐 理奈  
 交流係長 松浦 仁  
 学芸員 中尾 智路  
 囑託員 荒川 芳弘  
 囑託員 蒲池 昌江  
 囑託員 石松 紀子  
 囑託員 堀川 理沙

発行 2005年3月31日  
福岡アジア美術館  
福岡市博多区下川端町3-1 リハレンセンタービル7・8階  
URL: <http://faam.city.fukuoka.jp>  
デザイン マツダヒロチカ デザイン事務所  
印刷 株式会社 プリテックえんめい  
著作権 福岡アジア美術館  
2005年(禁無断転載)



この誌は地球環境保護のため  
再生紙を使用しています。



福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum